

古河市景観計画

平成 26 年 3 月

古河市

はじめに

「人・歴史・自然が共有するふるさと古河の景観舞台づくり」をめざして

わたしたちの街、古河市は、関東平野のほぼ中央に位置し、歴史の舞台でも関東地方の中心的役割を担い発展してきました。

合併から10年の節目を目前にした今、本市の発展に向けてメリハリのある行政を進めるとともに、市の歴史・文化を生かした商業、活力のある工業、実り豊かな農業、という基盤をもとに、行政の基本である「市民が主役のまちづくり」を体現したいと考えております。



本市は、旧城下町の風情を残す当時の町割りや数多くの神社仏閣など歴史景観、台地部の豊かな平地林や低地部の河川・田園に代表される自然景観、近年開発された住宅地や工業地など新たな都市景観など長い年月を重ねた暮らしの中で培われた多彩な景観を有しています。

近年、人々の関心はこれまでの物質主義から心の豊かさや生活における質を求める時代へと推移しており、より良好な景観を保全、創造することが今まで以上に求められているところです。

このようなことから、市民が誇りを持てる良好な景観を後世に継承するため、本市では平成23年1月に景観行政団体となり、景観法に基づく「古河市景観計画」を策定しました。

景観が豊かになることで、地域の魅力や価値がさらに高まり、私たちの生活の舞台としてふさわしい景観づくりが実を結ぶよう、本計画の実践を着実に積み重ねてまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重なご提案、ご提言をいただきました多くの市民の皆様をはじめ、関係者各位に心よりお礼申し上げます。

平成26年3月

古河市長 菅谷 憲一郎